

あってよかった、 出会えてよかった、 と思われる存在でありたい。

どんなに時代が変わろうとも、どんなに時が経とうとも、
お客さま視点に立ったサービスを追求するとともに、
お客さまの人生に寄り添い、
必要とされる価値と、豊かな暮らしを提供します。

ミニディスクロージャー誌 2025
第214期 営業のご報告
2024年4月1日▶2025年3月31日

スルガ銀行



ごあいさつ

平素よりスルガ銀行グループをお引き立ていただき、
誠にありがとうございます。

皆さまのスルガ銀行グループに対するご理解を一層
深めていただくため、「ミニディスクロージャー誌2025
第214期 営業のご報告」をお届けいたします。

2025年3月期は、中期経営計画2年目の取組みが着実に
実を結び、単体・連結ともに経常利益・当期純利益が3期連
続の増益となりました。ソリューション事業や投資用不動
産ローン、ストラクチャードファイナンス等の新規実行額
が計画を上回るペースで推移し、コア業務粗利益が成長
トレンドへ反転いたしました。2026年3月期についても、
4期連続となる当期純利益の増益を見込んでおります。

また、株式会社クレディセゾンとの資本業務提携も計画
を上回るペースで順調に進展しております。既にシナジー
効果がでている住宅ローン等の共同提供に加え、今後、
両社の既存のお客さま向け金融ソリューションの連携強
化を計画しており、両社のシナジーはさらに向上してい
く見通しです。

このように好調な業績を踏まえ、株主還元も強化して
おります。2026年3月期の年間配当予想は8円増配の37円
と過去最高水準を見込むとともに、総額150億円を上限と
する自己株式の取得枠を2025年5月に設定いたしました。

地域・社会への貢献活動としては、2025年4月、「地域創
生室」を新設いたしました。「サイクリングプロジェクト」
を軸に、地域経済の活性化や地域ブランドの向上などに
積極的に取り組んでまいります。環境保全への貢献として
は、CO₂排出量削減を進めておりますが、削減目標を前倒
しで達成したため、「2030年度にカーボンニュートラル
達成を目指す」との高い目標に変更いたしました。

さらに、足元の成長を持続可能なものとするため、人的
資本やIT/DXへの投資も積極的に進めております。「70歳

まで活躍、貢献を期待するスルガ」との方針を掲げたベテ
ラン社員の活躍支援策や、ダイバーシティ推進に向けた
女性社員のキャリア意識を醸成するための「未来経営
塾(Lite)」、社員のキャリア形成を支援する「キャリアピ
ジョン対話」など、社員がやりがいを感じる環境整備に
取り組んでいます。AI活用による競争力強化も視野に入れ
たITプラットフォームやDXへの投資も積極的に進めてい
く計画です。

当社は2025年10月に創業130周年を迎えます。これか
ら、お客さまとの信頼関係を一層深め、地域経済の持続
的成長や豊かな社会の実現に向け、ステークホルダーの
皆さまから「あってよかった、出会えてよかった」と思われ
る存在を目指してまいります。

今後とも皆さまの温かいご支援とご愛顧を賜ります
ようお願い申し上げます。

2025年6月

社長

加藤 広亮

Kosuke Kato



営業の概況 当期の業績につきましては、次のとおりです。

POINT

2025年3月期は、経常利益および当期純利益が3期連続で増益を達成し、堅調な業績推移となりました。トップライン指標である「コア業務粗利益」は、新規ローン実行額が期初計画を上回るペースで推移したこと等により、前期比14億円増加の599億円となりました。

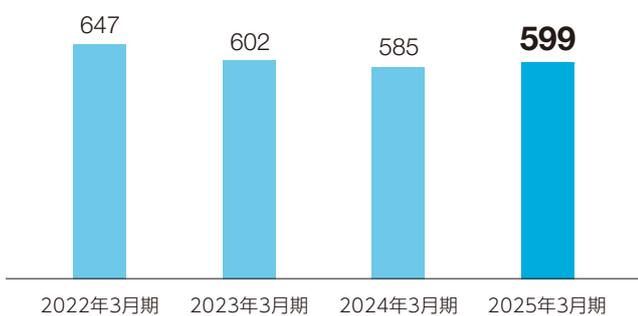
「経常利益」は、コア業務粗利益の増加や、有価証券関係損益の改善などにより、前期比54億円増益の256億円となりました。

「当期純利益」は、前期比47億円増益の197億円となりました。

2026年3月期も堅調な業績が見込まれることから、4期連続となる増益を予想しており、1株当たりの年間配当金予想は前期比8円増配の37円（過去最高水準）といたしました。

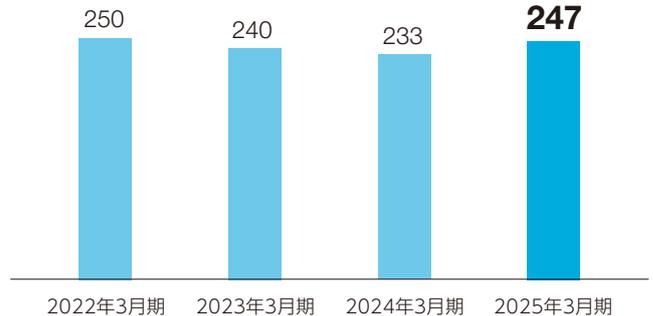
コア業務粗利益^{※1}（投資信託解約損益を除く）

（億円）



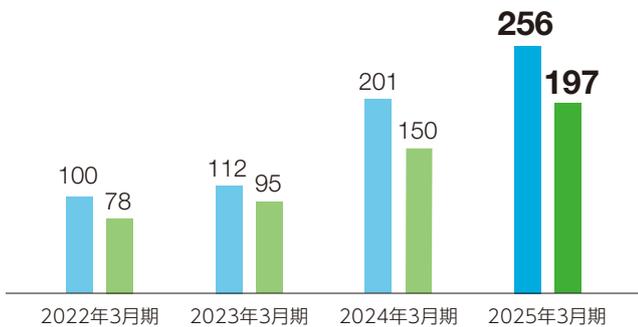
コア業務純益^{※2}（投資信託解約損益を除く）

（億円）



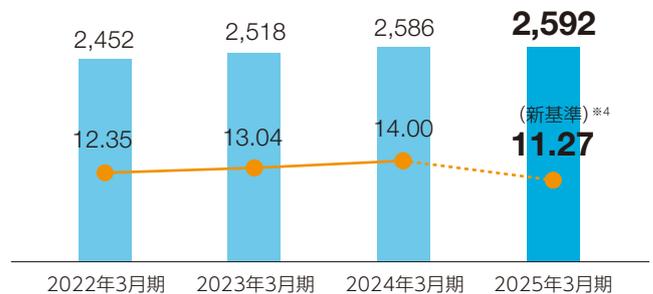
経常利益／当期純利益

（億円） ■ 経常利益 ■ 当期純利益



自己資本^{※3}／自己資本比率（国内基準）

■ 自己資本 (億円) ● 自己資本比率 (%)



※1：コア業務粗利益は、業務粗利益から国債等債券損益の影響を除いたもので、債券売買等の一時的な要因を除いた銀行の本業における粗利益を表しています。

業務粗利益 = 資金利益 + 役員取引等利益 + その他業務利益

コア業務粗利益（投資信託解約損益を除く）= 業務粗利益（投資信託解約損益を除く）- 国債等債券損益

※2：コア業務純益は、コア業務粗利益から経費を除いたもので、銀行の本業における収益力を表しています。

コア業務純益（投資信託解約損益を除く）= コア業務粗利益（投資信託解約損益を除く）- 経費

※3：自己資本は、〈コア資本に係る基礎項目〉から〈コア資本に係る調整項目〉を控除して算出しております。当社の〈コア資本に係る基礎項目〉は資本金、資本剰余金、利益剰余金等と一般貸倒引当金により構成しております。

自己資本比率 = 自己資本額（コア資本に係る基礎項目 - コア資本に係る調整項目）/ リスクアセット等 × 100

※4：2025年3月期よりパーゼルⅢ最終化適用（経過措置は非適用）

株主還元施策

株主還元の基本方針に基づき、株主還元の充実に努めております。

株主還元の基本方針

資本の健全性や成長のための投資との最適バランスを検討したうえで、株主還元の充実に努める方針

配当方針

配当性向30%程度を目安とした安定配当を基本方針とする

1株当たり年間配当金推移 (円)



地域の魅力を発信する 「地域創生室」を新設

2025年4月、地域経済の活性化を目的に、「地域創生室」を設置しました。サイクリングプロジェクト(街めぐり企画やSNS発信などの地域連携活動)を起点としたまちづくりやイベント企画を通じ、自治体や企業と連携しながら、地域の魅力を再発見・発信してまいります。



「ローンプラザ」を各地で展開

札幌・大宮・千葉・大阪・福岡の各拠点を「ローンプラザ」へリニューアルしました。

専門スタッフによる住宅ローンやセカンドハウスローン等のご相談に特化し、お客さまお一人おひとりに合わせたきめ細やかなサポートをご提供しています。



国内最大級の自転車レースに協賛し、 地域を応援

「ツアー・オブ・ジャパン 富士山ステージ・相模原ステージ」および「ジャパン・マウンテンバイク・カップ2025」に協賛しました。大会を通じて地域の魅力を全国に発信し、交流人口の拡大と地域活性化への貢献を目指しています。



地域と共に学ぶ コンプライアンスセミナーを実施

伊豆市議会議員・清水町役場職員の皆さまを対象に、コンプライアンスセミナーやカスタマーハラスメント対策セミナーを開催しました。地域の実情に即した内容で、自治体や企業から好評を得ており、今後も支援を継続してまいります。



Webサイトのご案内

スルガ銀行サイクリングプロジェクト

URL <https://www.surugabank.co.jp/cycling/>



自転車だからこそ発見できる地域の魅力

自治体・地元企業との協働による自転車での街めぐり企画、当社のサイクルステーションを使用したライドイベント等を紹介しております。



井伊部長の温泉グルメ探訪

URL <https://onsen.surugabank.co.jp>



温泉を中心に地元のおすすめスポットをご紹介します

地域貢献活動の一環として、静岡県・神奈川県(主に伊豆や箱根)の地元エリアの温泉施設や飲食店、観光スポットを紹介しております。今後も続々と新しいレポートを追加してまいります。



株式についてのご案内

決算日 毎年3月31日をもって決算を行います。
定時株主総会 毎年6月に開催いたします。
基準日 定時株主総会については、毎年3月31日といたします。その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

剰余金配当基準日 3月31日(期末配当) 9月30日(中間配当)
その他、当社が定めた基準日

公告の方法 電子公告といたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告ができない場合には、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵送物送付先) 〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎ 0120-707-843
受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)
インターネットホームページURL <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>
よくあるご質問(FAQ) https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主さまは、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座をご利用でない株主さまは、上記電話照会先までご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、上記「よくあるご質問(FAQ)」サイトでご確認いただけます。

詳しい内容、お問い合わせは

アクセスセンター ☎ 0120-50-8689 月~金曜日(祝日を除く) 9:00~17:00 ホームページ <https://www.surugabank.co.jp>

緊急連絡先のご案内

キャッシュカード・通帳・印鑑を紛失された際は、直ちににお取引店または以下の緊急サポートセンターへご連絡ください。

スルガ銀行緊急サポートセンター TEL 055-987-8182 24時間365日(有人受付) 同時に最寄りの警察にもお届けください。

当社の概要 (2025年3月31日現在)

設立 1895年(明治28年)10月19日
本店 静岡県沼津市通横町23番地
店舗数 国内 103

静岡県内 49 神奈川県内 35 東京都内 3 北海道内 1 埼玉県内 1
千葉県内 1 愛知県内 1 大阪府内 1 福岡県内 1
インターネット支店 10

資本金 30,043百万円
預金 31,540億円
貸出金 21,838億円

営業店舗網は
こちら▶▶▶



株主さまアンケートご協力のお願い

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします(所要時間は5分程度です)



<https://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード ●●●●



ご回答いただいた方の中から抽選で **薄謝 (QUOカードPay500円)** を進呈させていただきます

アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2か月間です

株主の皆さまにおかれましては、何卒ご理解をいただきますとともに、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます

本アンケートは、株式会社リンクソシールの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。<https://www.link-ss.co.jp/>
アンケートのお問い合わせ:「e-株主リサーチ事務局」MAIL info@e-kabunushi.com

スルガ銀行

〒410-8689 静岡県沼津市通横町23番地
TEL 055-962-0080
<https://www.surugabank.co.jp>

